

# 世帯の主たる生計維持者の所得・収入状況表

## 記載例

下記の4項目の収入のうち、令和2年中の収入が令和元年分の収入と比較して30%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

- ① 世帯の主たる生計維持者の令和元年中の合計所得金額が1,000万円以下である。
- ② 世帯の主たる生計維持者に令和元年中に所得の種類が複数あった場合、令和2年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。
- ③ 世帯の主たる生計維持者の、令和2年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額
- ④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和元年分の収入額

1,000万円を超えている場合は申請不可

400万円を超えている場合は申請不可

各項目の①と②への記入で、令和2年中の連続した3か月以上の期間を記入し、④に該当期間での収入額を記入してください。

④には、保険、損害賠償等による補填額がある場合に、その額を記入して下さい。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

⑤に、確定申告書の写し、源泉徴収票などから令和元年分の該当収入額を記入して下さい。

令和2年中の収入予測額

令和2年中の収入予測額		令和元年分の収入額	
1-A ⑦給与収入	令和2年① 月から② 月③ 月分 ④ 円	1-B 給与収入	⑤ 円
保険、損害賠償等による補填額	⑥ 円		
2-A ⑦事業収入	令和2年① 月から② 月③ 月分 ④ 円	2-B 事業収入	⑤ 円
保険、損害賠償等による補填額	⑥ 円		
3-A ⑦不動産収入	令和2年① 2月から② 5月③ 4ヶ月分 ④ 400,000円 円	3-B 不動産収入	⑤ 3,000,000円
保険、損害賠償等による補填額	⑥ 100,000円		
4-A ⑦山林収入	令和2年① 2月から② 5月③ 4ヶ月分 ④ 200,000円 円	4-B 山林収入	⑤ 900,000円
保険、損害賠償等による補填額	⑥ 50,000円		

$$\frac{④ \div 12 \text{ヶ月} \times ③}{⑤} = ⑦ \text{円} \quad \left[ \frac{(⑦ - (⑥ - ⑧)) \div ⑦}{⑦} = 1 \text{⑦} \right]$$

令和2年分の稼働月数に合わせた 令和元年分収入額

令和2年の給与収入が令和元年に比べて減少した割合 (給与収入)

$$\frac{④ \div 12 \text{ヶ月} \times ③}{⑤} = ⑦ \text{円} \quad \left[ \frac{(⑦ - (⑥ - ⑧)) \div ⑦}{⑦} = 2 \text{⑦} \right]$$

令和2年分の稼働月数に合わせた 令和元年分収入額

令和2年の事業収入が令和元年に比べて減少した割合 (事業収入)

$$\frac{④3,000,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ③4}{⑤1,000,000 \text{円}} \quad \left[ \frac{(⑦1,000,000 - (⑥400,000 + ⑧100,000)) \div ⑦1,000,000}{⑦1,000,000} = 3 \text{⑦}0.5 \right]$$

令和2年分の稼働月数に合わせた 令和元年分収入額

令和2年の不動産収入が令和元年に比べて減少した割合 (不動産収入)

$$\frac{④900,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ③4}{⑤300,000 \text{円}} \quad \left[ \frac{(⑦300,000 - (⑥200,000 + ⑧50,000)) \div ⑦300,000}{⑦300,000} = 4 \text{⑦}0.1667 \right]$$

令和2年分の稼働月数に合わせた 令和元年分収入額

令和2年の山林収入が令和元年に比べて減少した割合 (山林収入)

例1

例2

⑤ 1給与収入	1⑦ × 100 =	%
2事業収入	2⑦ × 100 =	%
例1 該当する ⇒ ⇒ 3不動産収入	3⑦ × 100 =	50 %
例2 非該当 ⇒ ⇒ 4山林収入	4⑦ × 100 =	16.67 %

減少の割合が30%以上の項目があれば減免されます。